

ふれあいルーム便り

12月



通所介護・地域密着型認知症対応型通所介護

医療法人社団芙蓉会 デイサービス ふれあいルーム 2022年12月15日 No.327



ケーキバイキング

—MENU—

アールグレイのシフォン
アップルローズ
夜空のようかん
みたらし団子
ハリネズミのチョコ

感染予防をしながら、ケーキバイキングを行いました。たくさんの種類のケーキをワゴンに乗せて席をまわり、お好きな物をスタッフが取り分けました。

白玉団子には水の代わりにお豆腐を使用して喉ごしを良くしたり、アップルローズのリンゴのコンポートには紅玉を使用して、きれいな赤い色が出るようになど、栄養科が工夫を凝らしたオリジナル手作りケーキです。コーヒーや紅茶の香りとともに、すてきな時間をすごしました。



どれも美味しそうで迷います



ふれあいハンドベル



ふれあいのハンドベルチームが全病棟をまわり、きらきら星を演奏してきました。病棟の患者様やスタッフがサンタの衣装や帽子で出迎え、アンコールもいただきました。

懐かしい音楽を聴き、昔を思い出すことによって、脳内の血流が活発になります。当時の思い出について高齢者同士で話をすることが、コミュニケーションを取るきっかけにもなり、大勢の中で演奏することは、社会性を維持する助けにもなります。今回の喜びを今後の練習意欲につなぎ、練習を続けていきたいと思えます。



いつもと違う場所での演奏は緊張しました



みんなで クリスマス準備

ツリーを飾ったり、壁面飾りを作製したり、ふれあいルームはすっかりクリスマスモードです。いつも壁面飾りなどは複数人で制作しています。複数人での活動は、そこに集まる人の相互作用により、二者関係では得られない様々な経験が生まれます。他者との交流や意欲向上を引き出し、役割認知や仲間意識を持つことをはじめ、さまざまな効果をもたらします。アイデアを出し合ったり、教え合ったり。製作中のおしゃべりは、帰属意識を持ち安心感、安定感が得られ、自分の存在を肯定された感覚につながるでしょう。これからお正月飾りも始まるので活動もにぎやかになります。



壁面が華やかになりました



季節を飾る

外出の頻度が減ると、季節の移ろいを感じる間もなく日々が過ぎ去ることも多くなります。でも四季の訪れは、気持ちをリセットできたり、自然の持つパワーに胸が高鳴ったりと、心を前向きにしてくれるものです。制作活動では季節感を大切にしています。

今月作成したツリーのフレームは、いつもは使用しない素材を使用しました。少々難度が高かったのですが、いつもは口少ない方が「ここ教えてください」と手を上げて質問してきてくれました。「お部屋に飾ったよ」とのお言葉もいただきます。自宅に戻られて飾りを見た時に、季節を感じ、今日も楽しかったとだけいただけたら幸いです。



木の部分はスポンジを使用

